

2月10日に、熊本宇城に大きなデータが出現し、数日間続き2月14日の午後に収束して、もとの100以下の小さいデータに戻っており、その後リバウンドなどありません。周辺のデータでは大分県、鹿児島、愛媛、米子などが収束してきていますが本日2月18日に、沖縄うるま市の長期の壁立ち状のデータが急に減衰してきています。この沖縄うるま市の長期データの減衰と熊本宇城のデータの関連ははっきりしませんが熊本が真っ赤なデータで震源が近いと考えられますが、沖縄はずっと緑色で遠くの震源であることが考えられるのでやはり熊本近辺の大地震の可能性が強く、規模が大きいことから沖縄のデータにも影響した、とも考えられます。もう発震の直前の可能性が高いですが、とりあえず周辺のデータの収束からも考えて、以下の予想を維持します。

>>震源：九州 熊本、大分（熊本地方、直下型の可能性）

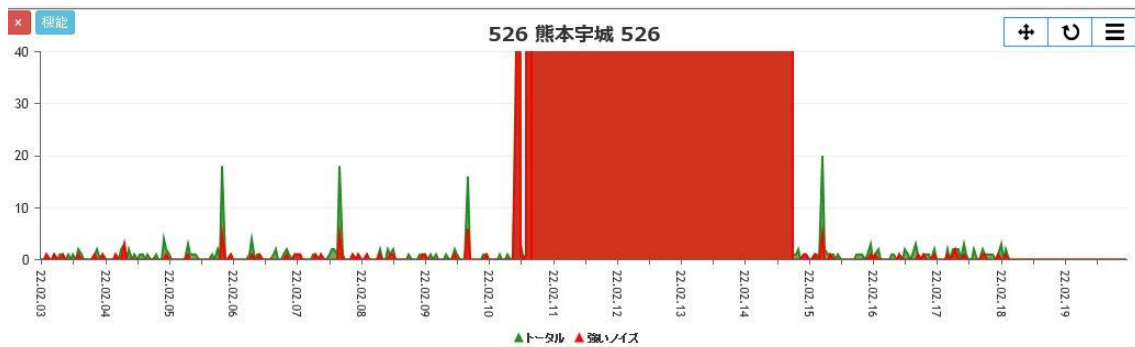
>>規模：M6超、>>時期：2月18日から2、3日程度

なお、2月16日が月齢15の満月にあたり、その後数日は大地震の起きやすい、満月トリガーにかかりますので十分な注意が必要です。以下のデータを参考にしてください。

熊本宇城 15日間データ



熊本宇城 15日間データ（拡大）



大分県 15日間データ



鹿児島 始良 15日間データ



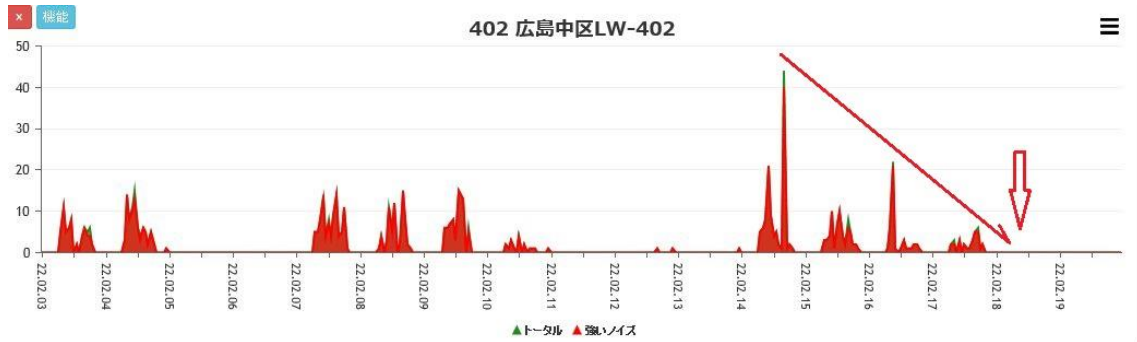
愛媛 宇和島 15日間データ



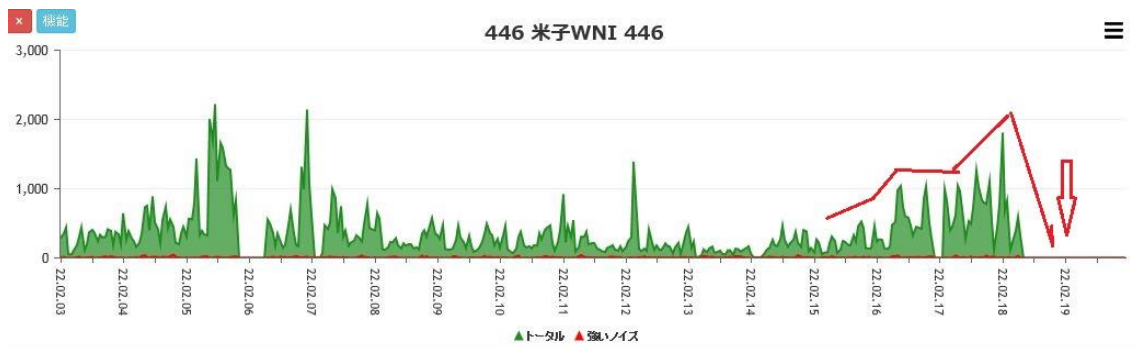
高知 黒潮町 15日間データ



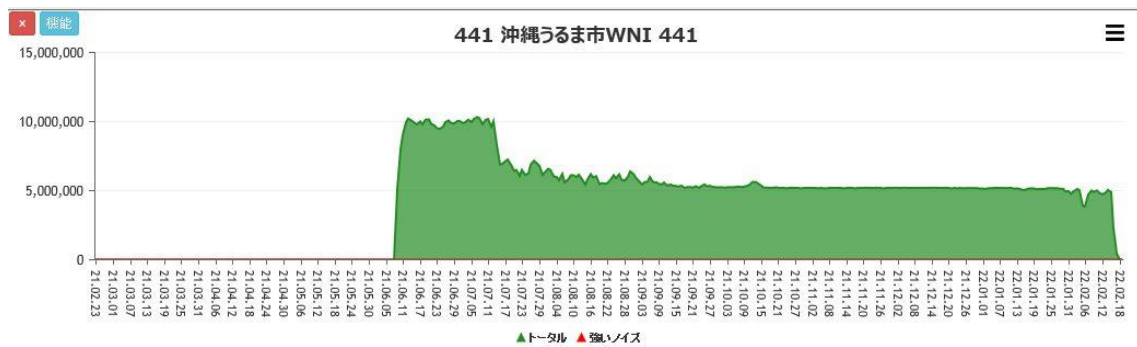
広島中区 402 15日間データ



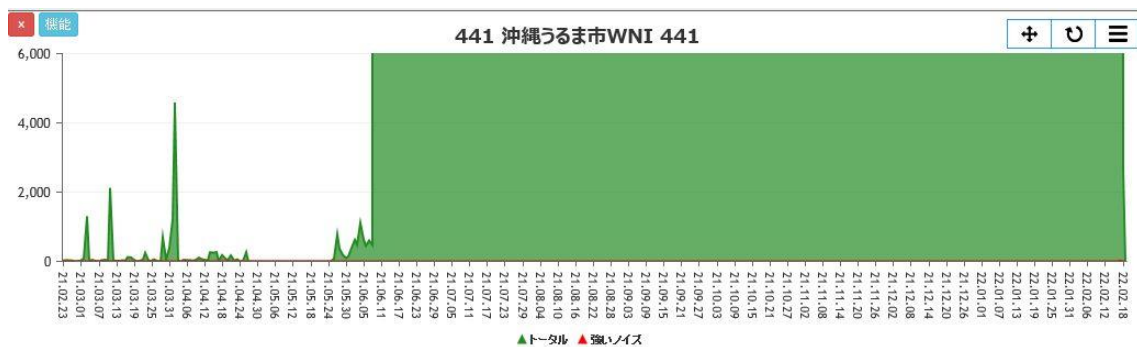
米子 15日間データ



沖縄 うるま市 365日間（日毎）データ



沖縄 うるま市 365日間データ（拡大）



沖縄 うるま市 15日間データ＞急な減衰が見られる。

